

令和5年度 田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール 入賞作品



水土里ネット滋賀(滋賀県土地改良事業団体連合会)

〒521-1224 滋賀県東近江市林町 601 番地

●課・担当 ●TEL(ダイヤルイン) ●メール

総務課 0748-42-4806 soumu@midorinet-shiga.com

業務課

・換地担当 0748-42-7168 kanti@midorinet-shiga.com

・農村まるごと保全

・推進担当 0748-42-7144 kankyou@midorinet-shiga.com

サポートセンター

(長浜事務所) 0749-59-3636 support-center@midorinet-shiga.com

基盤管理推進室

・ため池管理

・保全担当 0748-42-7101 kanri@midorinet-shiga.com

・アセットマネジメント

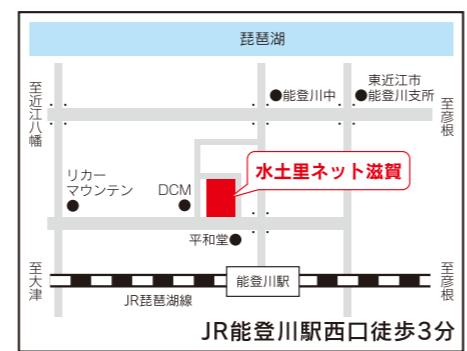
担当 0748-42-7167 gizyutu@midorinet-shiga.com

●FAX

0748-42-5574

●ホームページ

<https://www.midorinet-shiga.com>



みどり 水土里ネット滋賀 NEWS



力強い農業の確立と
活力ある農村の振興を応援します

令和5年度 田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール 受賞作品

「滋賀県知事賞」
初めての田植え



「滋賀県教育長賞」
ひいおばあちゃんのおてつだい



大津市立膳所小学校 入佐 航史郎さん

彦根市立河瀬小学校 のもと さき
野本 桜季さん

「滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会長」
田んぼでかえるをつかまえる男の子



大津市立膳所小学校 藤井 彩衣さん

令和6年(2024年)1月
滋賀県土地改良事業団体連合会

ご挨拶

滋賀県土地改良事業団体連合会(水土里ネット滋賀)
会長 家森 茂樹

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎える、謹んで御挨拶を申し上げます。

会員並びに関係の皆様方には、水土里ネット滋賀の運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

また、この度の令和6年能登半島地震にかかる災害等により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。一刻も早く被災地が復興し皆様に平穏な日常が戻りますことを心からご祈念しております。

さて、今、国では「食料・農業・農村基本法」の見直しが進められており、この展開方向に沿って、国の農業農村整備に係る令和6年度予算の概算決定は、競争力強化・国土強靭化のための農業農村整備を計画的に推進するため、補正予算を合わせて6,240億円が確保されました。

このうち、令和5年度の補正予算における本県への割当は、関係議員のご尽力のお陰もあり、事業費ベースで令和4年度補正の約1.2倍となる33億円となっており、地域のニーズに応えられる所要の予算が確保できたものと考えております。

今年度は、「滋賀県議会 農村基盤整備推進議員連盟」と連携しながら、とりわけ予算が厳しかった農地整備事業に係る予算の確保や、高止まりしている電力料金高騰対策等土地改良施設等の管理に対する支援制度の充実などについて、国や県への要望を重ね、地域の実情を強く訴えてきたところです。

また、農業水利施設の老朽化は待ったなしで進行しているため、施設の更新・長寿命化対策を加速化する必要がありますし、ため池、干拓施設等の豪雨・地震対策も強力に推進していかなければなりません。さらに、農地の約4割が琵琶湖から揚水ポンプで農業用水を確保している本県においては、電力料金が高騰する状況下においても安定的な用水供給が可能となるよう対策を講じることが急務となっております。

こうした課題に対応していくためには、本県の農業農村整備事業予算はまだまだ伸ばさなければなりませんし、政策の充実も求めていく必要があります、皆様方の一層のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

今後も引き続き、現場の声を踏まえた予算の必要性を訴えて参りますが、先に行われます国政選挙において我々の代表者をしっかりと送り出すことが、農業農村整備事業の発展には非常に重要になると思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

結びに、皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、本会に対して今まで同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

滋賀県知事
三日月 大造

1月1日に能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方々に哀悼の誠をささげるとともに、被災され、負傷された方々には心からお見舞いを申し上げます。滋賀県といたしましては、全国知事会、中部ブロック、関西広域連合などの広域団体や市町、関係団体とも連携しながら、総力を挙げて被災地支援を行っていく所存です。

滋賀県土地改良事業団体連合会会員ならびに関係の皆様におかれましては、日頃から県行政とりわけ農業農村整備事業の推進に、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、10年を超える歳月をかけて育成した近江米新品種の「きらみずき」がデビューしました。オーガニック栽培をはじめ、化学肥料や化学合成農薬を使用しない栽培に限定しており、環境に配慮した“やさしさ”をコンセプトにしております。今年の本格デビューに向け、生産・流通・販売戦略の構築など着実に進めてまいります。

また、社会を取り巻く状況を見ますと、気候変動による異常気象の多発、生物多様性の損失、生成AIなどの技術革新、担い手不足などに伴い、社会構造や価値観の変容がさらに進むことが予想されています。そうした中で滋賀県では、子ども・若者が希望とともに歩む未来を展望し、「ひとづくり」「安全・安心の社会基盤と健康づくり」「持続可能な社会・経済づくり」「自然環境や生物多様性の保全・再生」を重視した取組を進めています。

農村振興の分野においては、世界的な食料情勢の変化や気候変動等の状況、国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化の進行、災害の激甚化・頻発化や燃料費高騰に伴う電気料金の高止まりなど、先行きが見えない不安が増しています。そのような中にあっても希望とともに歩む未来を展望し、農業・農村を次世代に引き継ぐため、農業者の経営力向上や農業のグリーン化・デジタル化につながる農地の基盤整備、農業水利施設の効率的かつ計画的な保全更新対策、農村地域の防災・減災、国土強靭化対策などを進めてまいります。引き続き、皆様の御理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も滋賀の農業・農村の力を信じて、その魅力を発信してまいりたいと存じます。皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議 顧問
財務大臣政務官 参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。

本年は元日から能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたしますとともにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の復旧、復興に向け、私も全力を尽くしてまいります。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

滋賀県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願ひ致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下にあって、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円(TPP等対策: 760億円、食料安全保障対策: 460億円(うち重複300億円)、国土強靭化5か年加速化対策: 857億円)が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力(食料自給力)の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでにも増して重要なとあります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

本年元日に発生した「令和6年能登半島地震」により尊い命を失われた方々に哀悼の誠を捧げさせていただきます。さらに、被害に遭われ、不自由な避難生活を余儀なくされている皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、速やかな生活基盤の回復と、今後進められる農地・農業用施設を含む被害状況の把握や早期復旧・復興に向け、私も関係機関等と連携しながらしっかりと対応してまいります。

また、本件地震のほかにも、昨今の激甚化、頻発化する自然災害は、昨年も全国各地で風水害や土砂災害等を発生させ、さらに、夏場の高温や渇水など農業用水の安定供給にも影響を及ぼしています。被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げ、早期復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいります。

さて、辰年を迎えて、滋賀県土地改良事業団体連合会ならびに会員各機関、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

私も皆様方から多くのご支援をいただきつつ、現場でお聞きした皆様のお声やご要望等に対し、それぞれの地域事情に即した解決に向け、国政の場から全力で対応してまいりました。昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、土地改良関係として、昨年度の補正予算から100億円増の1,777億円(食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災・国土強靭化対策857億円)を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料高騰分の7割を支援する制度を4月まで延長する対策も含まれています。加えて、12月に閣議決定した令和6年度当初予算案では、前年を上回る4,463億円が計上され、補正予算と合わせた総額は6,240億円となっております。これから行われる通常国会において、参院予算委の理事として、早期成立に向け努力してまいります。

さらに、1月末からはじまる通常国会では、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」の四半世紀ぶりの改正が予定されていることから、我が国の食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化等についてしっかりと議論を深め、基本法に位置付けていく必要があります。加えて、土地改良が担う重要な役割としての農地や水利施設等の整備、保全管理、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組、農業農村関係人口の拡大など、土地改良区の運営基盤の強化を図っていくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念に、現場や地域の課題をしっかりとお伺いし、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保や制度の充実に向け、鋭意努力してまいる決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、滋賀県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の益々のご発展とご健勝を心より祈念申しあげ新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



令和6年度 農業農村整備事業関係予算(概算決定)について

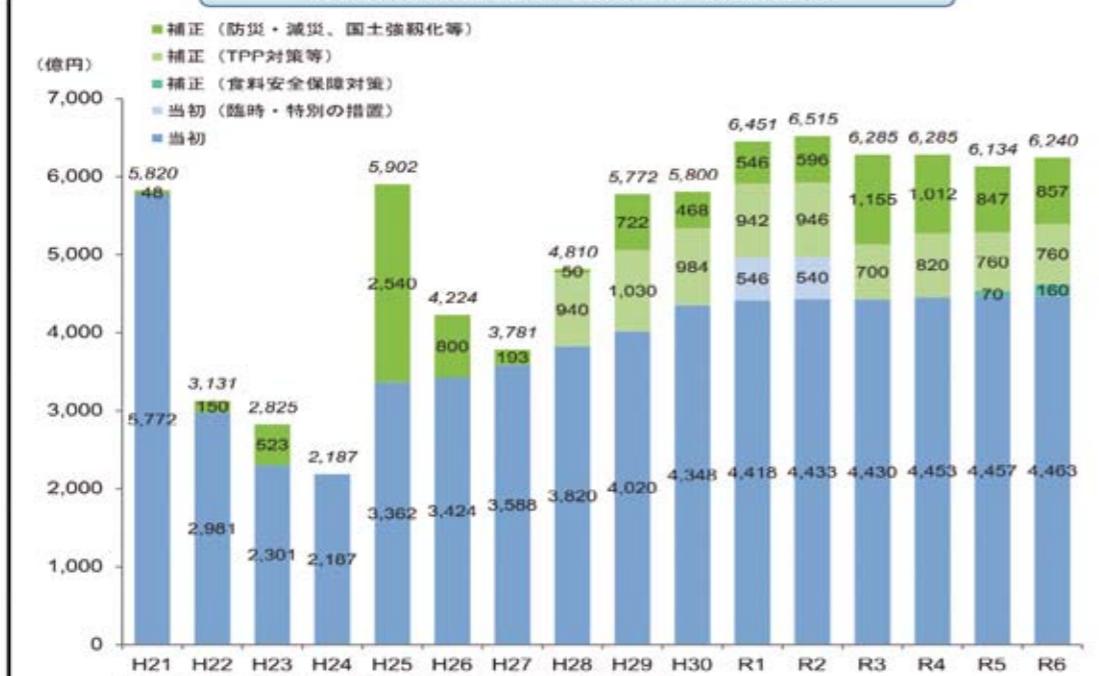
令和6年度の農業農村整備事業関係予算(政府原案)は、「農政の憲法」である「食料・農業・農村基本法」の見直しの方向に沿って、競争力強化・国土強靭化のための農業農村整備、元気で豊かな農村を次世代へ継承する農村振興などを積極的に推進するため、4,463億円(対前年度比100.1%)が概算決定されました。また、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策、TPP対策及び食料安全保障対策として、令和5年度補正予算において措置された1,777億円を合わせると6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算が確保される見込みです。

これまでから、当会、国営農業水利事業滋賀協議会、滋賀県議会 農村基盤整備推進議員連盟が連携して、地域の実情(ニーズ)を国に届けてきた成果の一つであると考えており、引き続き現場の声・ニーズを国にしっかりと訴え、必要な予算の確保に向け取り組みます。

令和6年度予算等

	令和5年度 当初予算 A	令和6年度 当初予算 B	令和5年度 補正予算 A+B	合計
				(単位:億円)
農業農村整備事業(公共)	3,323	3,326 (100.1%)	1,777	5,103
農業農村整備関連事業(非公共) <small>農地耕作条件改善事業、培作等促進整備事業、農業水路等改善事業、防災減災事業、農山漁村振興交付金</small>	543	548 (100.9%)	-	548
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	588 (99.6%)	-	588
計	4,457	4,463 (100.1%)	1,777	6,240

農業農村整備事業関係予算の推移



(農林水産省資料から抜粋)

国や県に地域の実情・ニーズを強く訴えました

～滋賀県議会農村基盤整備推進議員連盟や国営農業水利事業滋賀協議会と連携して要請～

1 「農事用電力料金高騰に係る継続的な支援」 (財務省・農林水産省・経済産業省)

8月24日(木) 財務省、農林水産省、資源エネルギー庁、国会議員などに、農事用電力料金高騰に係る継続的な支援等を要請

- ①農村の国土強靭化のため農業用水の安定的供給が可能となるよう高騰する農業用電力料金に対する継続的な支援
- ②農業水利施設の適切かつ効率的な保全管理が図られるよう社会経済情勢等の変化に対応した基幹水利施設管理事業等の施設管理に係る令和6年度当初予算の確保



横山農林水産事務次官に現状説明

2 「地域ニーズを踏まえた予算確保と農事用電力料金高騰対策の継続」 (滋賀県)

8月28日(月) 三日月知事、関係部局の幹部に、令和6年度の農業農村整備事業に係る当初予算の確保や農事用電力料金高騰対策の継続等を要請

- ①農業農村整備事業の積極的な推進と資材高騰等を踏まえた関係予算の確保
- ②日本型直接支払制度の円滑な推進
- ③水土里ネットの運営基盤の強化と防災体制の強化
- ④地域の実情に応じた整備

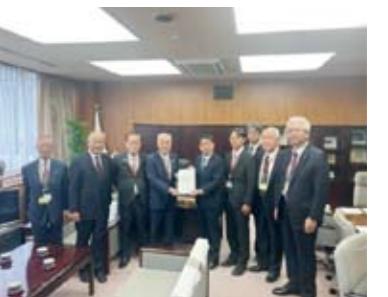


三日月知事へ要望書を手渡し

3 「令和6年度農業農村整備事業の当初予算の確保」 (財務省・農林水産省)

10月24日(火)、25日(水) 武村展英農林水産副大臣、長井俊彦農村振興局長、瀬戸隆一財務大臣政務官、国会議員などに厳しい農業情勢に立ち向かうため、農業農村整備事業関係予算の令和6年度当初予算枠の拡大等を要請

- ①地域の強い要請や資材価格の高騰などの影響を踏まえ、農業農村整備事業関係予算の令和6年度当初予算枠の拡大
- ②老朽化した農業水利施設の保全更新対策や豪雨・地震対策等の推進、農事用電力料金が高騰する状況下であっても安定的な用水供給が可能となる新たな対策の構築や予算の確保 など



武村農林水産副大臣へ要望書を手渡し

4 「資材価格高騰を踏まえた予算確保と農事用電力料金高騰対策の継続」 (滋賀県)

11月30日(木) 江島副知事、関係部局の幹部に、資材の価格高騰を踏まえた令和6年度の農業農村整備事業に係る当初予算や令和5年度補正予算の確保、農事用電力料金高騰対策の継続等を要請

- ①農業農村整備事業の積極的な推進と資材高騰等を踏まえた関係予算の確保
- ②日本型直接支払制度の円滑な推進
- ③水土里ネットの運営基盤の強化と防災体制の強化
- ④地域の実情に応じた整備



江島副知事へ要望書を手渡し

土地改良区から国會議員・県議会議員へ 課題等、地域の声を届けていただきました

◆7月1日(土)・東近江地区国営事業推進協議会、東近江地域干拓協議会、野洲川下流土地改良区

宮崎参議院議員(全国水土里ネット会長会議顧問)、小寺衆議院議員(水土里ネット滋賀顧問)
井狩滋賀県議会議員



◆8月22日(火)・能登川土地改良区、愛知川沿岸土地改良区、日野川流域土地改良区

うえの衆議院議員(水土里ネット滋賀顧問)、小寺衆議院議員(水土里ネット滋賀顧問)
加藤滋賀県議会議員



◆9月2日(土)・野洲川下流土地改良区(揚水機場)、せせらぎの郷須原魚のゆりかご水田協議会

宮崎参議院議員(全国水土里ネット会長会議顧問)

奥村滋賀県議会議員
井狩滋賀県議会議員



◆10月7日(土)・高島地域、淡海湖(県営農地防災事業)

宮崎参議院議員(全国水土里ネット会長会議顧問)

海東滋賀県議会議員、清水滋賀県議会議員



トピックス

「第45回全国土地改良大会福井大会」が開催

10月11日(水) 「水土里」がある「幸福」がある
「笑顔」がある ~ふくいで語る土地改良の未来~
をテーマにした「第45回全国土地改良大会福井大会」が開催されました。

主催者である全国土地改良事業団体連合会 二階会長が『永平寺を開山した道元禅師は、柄杓に汲んだ水を必要な分だけ使ったら、残りの水を元の川に戻したといわれている。どんなに水が豊かにあっても、その一滴を戻せば下流で水を使う人の為になる。この「杓底一残水」の心は、土地改良の神髄であり、古来より先人の間で脈々と受け継がれてきた精神。この大会を通じて、土地改良の大切さを全国の皆様と共有し、発信していこう。』と挨拶(代読)されました。

「大会式典」では、長年にわたり土地改良事業の推進にご尽力された方々の功績を讃えて表彰式が行われ、家森茂樹氏が農林水産省農村振興局長表彰を、淺田壌太郎氏が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。



大会旗入場

農林水産省 農村振興局長表彰 家森 茂樹 氏

(大原貯水池土地改良区 理事長)
(滋賀県土地改良事業団体連合会 会長)



全国土地改良事業団体連合会長表彰 浅田 壌太郎 氏

(近江八幡西部土地改良区 理事長)
(日野川流域土地改良区 常任理事)
(滋賀県土地改良事業団体連合会 代表監事)



主な会務の状況(R5.7.1～12.31)

月 日	内 容	場 所
7月21日	農業・農村振興に関する提案活動	近畿農政局
7月28日	決算監査、第2回理事会	水土里ネット滋賀
8月1～3日	換地事務(新規)担当者研修会	水土里ネット滋賀
8月 5日	農林水産省、財務省への要望	農林水産省
8月10日	滋賀県知事、滋賀県議会への要望活動	滋賀県庁
8月24日	農林水産省・財務省への要望活動	農林水産省・財務省
8月28日	農事用電力料金高騰対策の継続要請	滋賀県庁
9月 1日	土地改良区女性職員研修会	水土里ネット滋賀
9月15日	農事用電力料金についての要望活動	関西電力滋賀支社
9月21日	農業農村整備の推進に向けた意見交換会	水土里ネット滋賀
10月 7日	宮崎参議院議員現地視察・意見交換	高 島 市
10月 8日	小寺衆議院議員・進藤参議院議員現地視察・意見交換	東近江市
10月11日	第45回全国土地改良大会福井大会	福 井 県
11月20日	土地改良区運営基盤強化研修	能登川コミュニティセンター
11月22日	会計研修会(単式簿記)	水土里ネット滋賀
11月24日	中間監査、第2回監事会、第3回理事会	水土里ネット滋賀
11月30日	滋賀県知事、滋賀県議会への要望活動	滋賀県庁
12月 8日	近畿水土里ネット、土地改良区・市町・県役職員研修会	近江八幡市

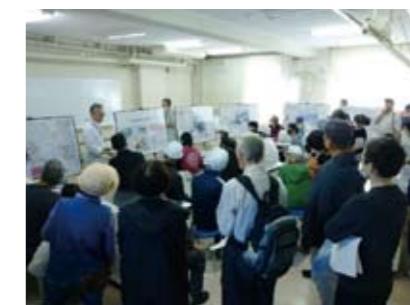
農業用ため池の適正管理の技術的な助言や 防災工事等のお手伝いをしています ～ 滋賀県ため池サポートセンター～

昨今、全国的に地震や集中豪雨等の災害が頻発しており、本年の元旦には、令和6年能登半島地震により、100か所を超える農業用ため池も被災したとの情報があります。農業用ため池は農業用水の水源として無くてはならない役割を果たしますが、被災すると下流域にある集落や公共施設に大きな被害を及ぼすことになり、適正な管理が重要な施設です。

しかし、ため池管理者(農家)の高齢化や減少により、管理体制も脆弱化しているのが現状です。本会では、農業用ため池の適正な管理と保全を図るため、ため池管理者等による適正管理の技術的な指導・助言を行い、防災工事等を支援する「滋賀県ため池サポートセンター」を運営しています。相談窓口も設けていますのでご活用ください。



ため池管理者への管理方法等の指導



ため池ハザードマップを活用した防災訓練

工事(災害含む)発注のための 設計・積算、施工管理などの業務もお任せください

人口減少や高齢化の進行等は人材不足(特に技術者)を招き、土地改良関係にも大きな影響を及ぼしています。特に、大きな災害の復旧には多くの労力が必要となります。人材の確保が非常に厳しいのが現状です。こうしたことに対応するため、令和4年4月1日に施行された改正土地改良法では、土地改良事業団体連合会の行うことのできる事業に「会員からの委託を受け行う土地改良事業の工事」が追加されました。

本会においても、防災、減災対策や小規模な農業基盤の整備等を円滑に行うため、会員である市町、土地改良区等から委託を受けて、土地改良事業の工事(工事施工のために必要な調査・設計・積算、施工管理等)を取り組んでいます。積極的な活用をお願いします。



「発注者支援機関」の
認定を受けています



表土厚を確認し施工方法等を設計



ため池漏水補修工事の施工確認

『水土里ネット相談』を活用してください(毎月第2水曜日開催)

土地改良区の運営にかかる多種多様な悩み事に対し、定期相談を開催していますので、ご希望の場合、当会ホームページ『水土里ネット相談申込書』によりお申込み下さい。

●主な相談内容(例)

- ①土地改良区の運営について
- ②賦課金の問題について
- ③訴訟に関すること
- ④会計について